



# 宗四小だより

開校40周年  
新たな歴史と伝統をつくる

10月号

志木市立宗岡第四小学校  
志木市上宗岡1-1-2  
048-473-5250

<http://www.mune4syo.ed.jp/>

児童数 521 名 令和 2 年9月25日発行



目指す学校像『笑顔・感動いっぱい 虹色に輝く みんなの学校』



## 「心に花を届けよう」

校長 高柳 政行

全国で唯一、新型コロナウイルスの感染者が「ゼロ」だった岩手県において、7月末、初めて感染者が確認されました。県内1例目として発表された男性が勤める会社には直後から、中傷の電話が相次いだとのことでした。けれど、次第に、応援や励ましのメッセージや手紙が多く届くようになっていったといえます。中には、営業所に匿名でアレンジメントフラワーを届け、そのメッセージには、「勤め先に届くのは中傷の言葉ではなく、花だと思いました」と書かれていたそうです。

この会社の関係者や感染した方にとって応援や励ましてくださる方からのメッセージは、本当にうれしく、心の支えとなっていたというのです。想像するだけで、私は、温かい気持ちになりました。そして、心に勇気や希望が湧いてくるのでした。

9月5日(土)の埼玉新聞に「新型コロナ 子どもへの中傷 20件 県教委 大人からの事例も」という見出しの記事が掲載されました。その数日前に志木市内の中学校の生徒が感染したという発表もありましたが、中には個人を特定しようとする人もいたという話を耳にしました。強い憤りを覚えると同時に、その生徒や家族の方、そして学校関係者が心配になりました。改めて自分にできることは何か、自らに問いました。

県教育長から出され、すでに配布済みの「児童生徒・保護者のみなさまへ」のメッセージに、「差別的な言動には同調せず、適切な行動をとることができるように4つのお願い」というものがあります。本校においても、各担任から子ども達に指導しましたが、改めて紹介します。

- 1 新型コロナウイルスには、誰もが感染する可能性があり、感染した人を悪いということでは ありません。
- 2 感染した人が悪いという雰囲気ができ、感染したことを言いだしにくくなるとさらに感染が広がってしまうかもしれません。
- 3 感染した人を責めるのではなく、励まし、治って学校へ戻ってきたら、温かく迎えましょう。
- 4 皆さんは、今、自分ができる予防をしっかりと行い、日々の学びを続けてほしいと思います。

## 今こそ、「中傷の言葉ではなく、心に花を！」

一人一人が「新型コロナウイルス感染症について正しく理解し、もし自分が感染したら、周囲の人にどうしてほしいかということを考えて行動できるよう、各ご家庭でも話し合ってみてください。



9月19日ブロックごとに開催した運動会では、多くの保護者の皆様にご参観いただきありがとうございました。前日の給食のメニューは「カツ」。「明日は勝つぞ」と盛り上がっているクラスもありました。運動会当日、子ども達は、徒競走や学年競技に一生懸命に取り組んでいたと思います。頑張っている姿は、いいものですね。運動会ができて良かったです。また、前日や当日には多くのPTAの役員の方や保護者の皆様にテントの準備や片づけを手伝っていただきました。ありがとうございました。